

Canaeru

カ・ナ・エ・ル

工事店様へのお願い
この取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。

取扱
説明書

調整方法

このたびは当社の商品をご使用いただき、ありがとうございます。
安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
また、いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

NODA

安全上
の注意

安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

表示内容を守らず誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、表示で説明しています。

⚠ **警告**…「死亡または重傷等を負う可能性が想定される。」

⚠ **注意**…「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される。」

お守りいただく内容の種類を、図記号で説明しています。

🚫 …してはいけない「禁止」内容です。

🔴 …必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ **警告**

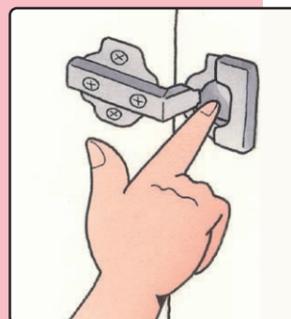
🚫 **禁止** 取手以外の所に手をかけて開閉しないでください。



扉同士のすき間や扉と枠のすき間、スライド丁番のカップ内等に、指をはさんだまま扉を開閉すると大きなケガをするおそれがあります。

乳幼児が開閉操作をおこなわないよう、また乳幼児が近くにいるときの扉の開閉には十分ご注意ください。お願いします。

🚫 **禁止** スライド丁番のカップ内に指を入れないでください。



指がはさまり大きなケガをするおそれがあります。

🚫 **禁止** 扉・取手にぶらさがらないでください。



転倒事故によりケガをするおそれがあります。

🚫 **禁止** 暖房器具、エアコン、加湿器等を扉に極端に近づけたり、風が直接あつたりしないようにしてください。



扉の反り、変形や火災が生じるおそれがあります。

注意：暖房器具、エアコン、加湿器等を扉に極端に近づけて使用することにより、扉に反りが生じる場合があります。

⚠ 注意

⊘ 禁止 扉の開閉は静かにおこなってください。



乱暴に扱いますと、扉の破損や脱落によりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止 扉によりかかる、ぶつかる等しないでください。



扉の破損や脱落、ガラス・ミラーの割れによりケガをするおそれがあります。

⚠ 強制 押し開きの際は静かに開けてください。



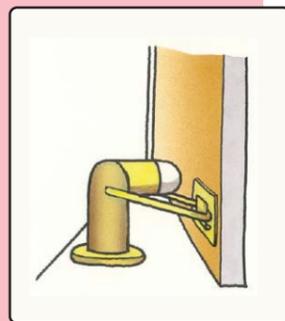
反対側に人がいてケガをするおそれがあります。

⚠ 強制 扉にガタつき等の不具合が生じたときは、使用を中止し、施工業者に連絡してください。



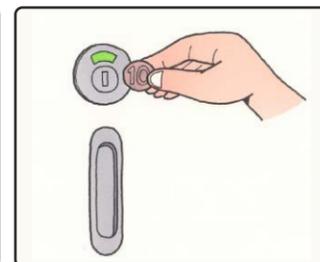
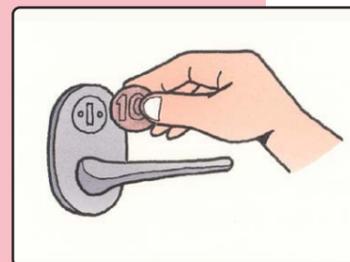
そのまま使用しますと、破損や脱落によりケガをするおそれがあります。また、無理に直そうとすると故障の原因となります。

⚠ 強制 ドアを吹き抜けや高層住宅など風の強い所に使用するときは、ドアストッパーや市販のあおり止め等を取り付けてください。



風等の影響で扉が強くと閉まると衝撃でガラスが割れたり、ぶつかってケガをしたりするおそれがあります。

■ トイレなど中から鍵がかかってしまった場合の対処方法



トイレなど中から鍵がかかってしまった場合は、硬貨等を用いて外側の鍵溝を縦方向に回転させると外から開錠できます。

使用上のご注意

■ 粘着テープ等は表面に貼らないでください。



はがすときに塗膜や表面材を傷めるおそれがあります。

■ レール内にたまったゴミやホコリは、こまめに掃除機等で取り除いてください。



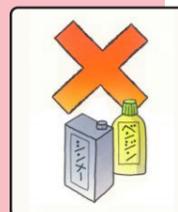
ゴミやホコリがたまったまま扉を開閉しますと故障の原因となります。

■ 扉、枠を清掃する際は…



扉、枠を清掃する際は、乾いた柔らかい布を使用してください。乾いた柔らかい布だけで汚れが落ちなかった場合は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませて固く絞ってからふき取り、仕上げに乾いた布でふいてください。(決して強くふかないでください。)

ガラス、樹脂板を清掃する際は、柔らかい布に水を含ませ、表面を軽くふいてください。汚れが落ちたら、すぐに乾いた布でふき取ってください。(できるだけ水洗いをおすすめします。洗剤液がガラス面に残ると、シミ・色ムラ等が発生することがあります。)



注意：酸性/アルカリ性洗剤、シンナー/ベンジン/アルコール類の溶剤は絶対に使用しないでください。

調整方法



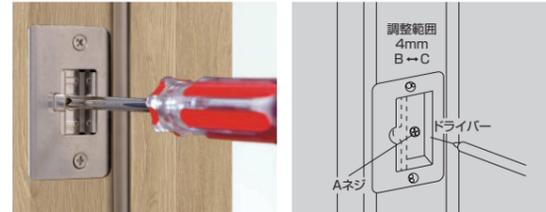
ご使用中にドア・引戸のガタつき・すき間等が発生した場合、各部を調整することでより快適にご使用いただくことができます。

内装ドア ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

調整ラッチ受けの調整方法

扉の調整

扉がガタつく場合は、Aの調整ネジを右に回します。
扉がラッチ受けに納まらない場合は、Aの調整ネジを左に回します。



丁番ドアの調整方法 ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。調整不要の場合でも、固定ネジの締めつけをおこなってください。

扉の上下方向の調整

扉の上部が枠に当たる場合や扉の下部が床にこすれる場合、扉側下丁番の軸カバーを外し、上部のネジをドライバーで回して扉の上下位置を調整します。1回転で1.5mm移動し、標準施工位置を基準に2.5mmの範囲で調整できます。



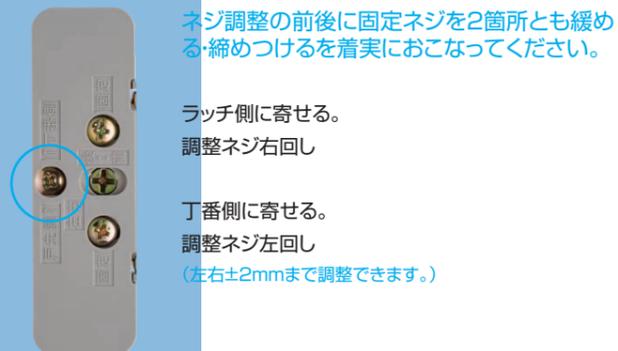
下の丁番で調整

- プラスドライバーで右回し
扉上げる
- プラスドライバーで左回し
扉下げる

(上下±2.5mmまでの調整)

扉の左右方向の調整

扉がラッチ側縦枠に当たる場合や扉とラッチ側縦枠のすき間が広い場合、調整ネジ(左)をドライバーで回して扉の左右位置を調整します。1回転で1.5mm移動し、標準施工位置を基準に2mmの範囲で調整できます。



ネジ調整の前後に固定ネジを2箇所とも緩める・締めつけるを着実におこなってください。

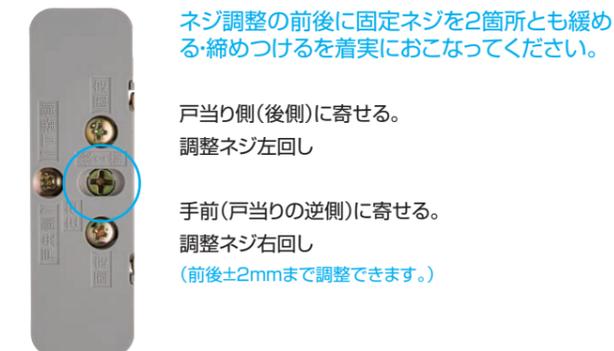
ラッチ側に寄せる。
調整ネジ右回し

丁番側に寄せる。
調整ネジ左回し
(左右±2mmまで調整できます。)

※上下の丁番を調整してください。
※調整ネジは調整範囲以上に回さないでください。

扉の前後方向の調整

扉の上下部が枠からはみ出ている場合や扉の上下部が枠に入りすぎている場合、調整ネジ(右)をドライバーで回して扉の前後位置を調整します。1/4回転で2mm移動し、標準施工位置を基準に2mmの範囲で調整できます。



ネジ調整の前後に固定ネジを2箇所とも緩める・締めつけるを着実におこなってください。

戸当り側(後側)に寄せる。
調整ネジ左回し

手前(戸当りの逆側)に寄せる。
調整ネジ右回し
(前後±2mmまで調整できます。)

※上下の丁番を調整してください。

内装引戸 ※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

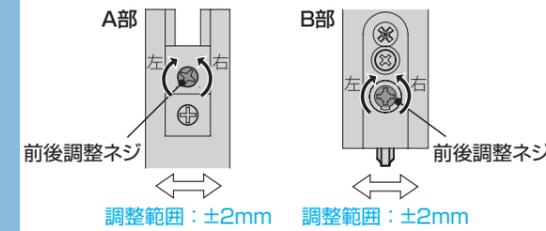
クローザ付き

扉の調整

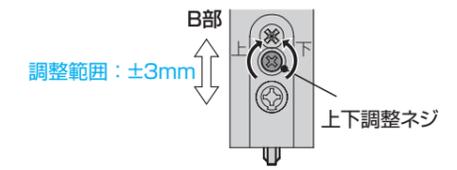


扉を可動範囲全体で開閉し、扉が滑らかに開閉できることを確認します。滑らかに開閉できない場合や扉の納まりが悪い場合には調整をおこないます。

前後調整 ・扉の前後調整は下図前後調整ネジを回します。 上下調整 ・扉の上下調整は下図上下調整ネジを回します。



右と表示してある方向に回すと扉が右に動きます。(2mm)
左と表示してある方向に回すと扉が左に動きます。(2mm)



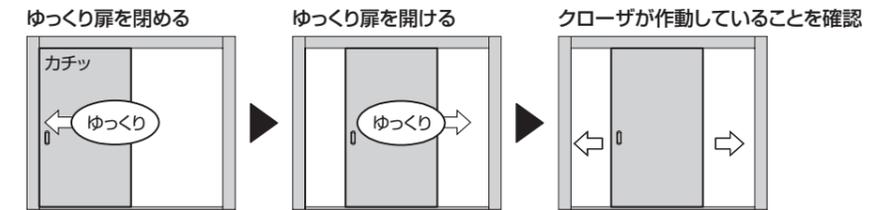
上と表示してある方向に回すと扉が上がります。(3mm)
下と表示してある方向に回すと扉下がります。(3mm)



※必ずクローザ受けを取付ける前に扉の調整をおこなってください。
※部分的に滑らかに開閉できないこともあります。必ず開閉確認は扉の可動範囲全体でおこなってください。

クローザの動作確認

扉を最後まで閉めることでクローザが自動復帰セットされます。扉をゆっくりと開け閉めし、クローザが正常に作動することを確認します。



※クローザが正常に作動しない場合、扉の調整をおこない、その後、自動復帰操作をおこなってください。
※引戸クローザに強弱調整機能はありません。

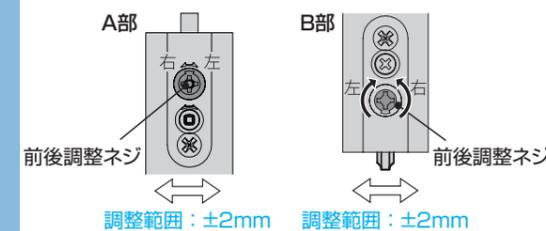
クローザなし

扉の調整



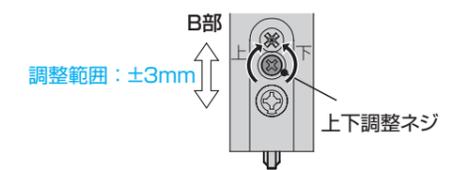
扉を可動範囲全体で開閉し、扉が滑らかに開閉できることを確認します。滑らかに開閉できない場合や扉の納まりが悪い場合には調整をおこないます。

前後調整 ・扉の前後調整は下図前後調整ネジを回します。 上下調整 ・扉の上下調整は下図上下調整ネジを回します。



右と表示してある方向に回すと扉が右に動きます。(2mm)
左と表示してある方向に回すと扉が左に動きます。(2mm)

※部分的に滑らかに開閉できないこともあります。必ず開閉確認は扉の可動範囲全体でおこなってください。



上と表示してある方向に回すと扉が上がります。(3mm)
下と表示してある方向に回すと扉下がります。(3mm)

ストッパーの調整

上戸車の調整ネジを操作すると、ストッパーの強弱が調整できます。強と表示のある方向に回すとストッパーが強くなり、弱と表示のある方向に回すとストッパーが弱まります。



※調整範囲をこえてネジを回した場合、調整ネジが飛び出すおそれがあります。
※ストッパーが効きすぎる場合、ネジを弱の方向に回してください。

クローゼット

※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

クローゼット(ピボットタイプ)

扉の調整

[左右の調整]

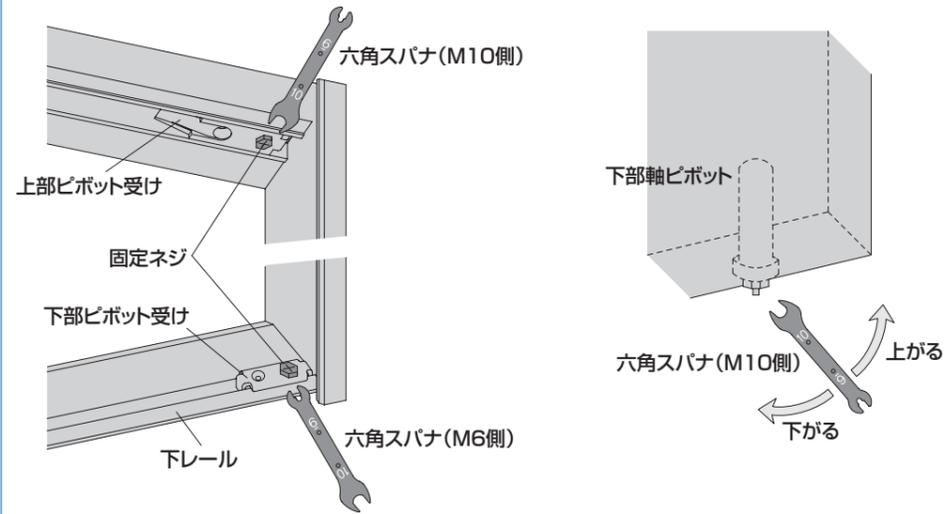
上レール、下レールにあるピボットのビスを緩めてから、左右移動をし、すき間を調整します。

※調整後は必ず同梱の六角スパナを使用し、固定ネジが回らなくなるまで締め付けてください。固定が緩いと扉が外れケガをするおそれがあります。



[高さ(上下)の調整]

下部軸ピボットのボルトナットを、同梱のスパナで回転させながら高さ(上下)の調整をします。

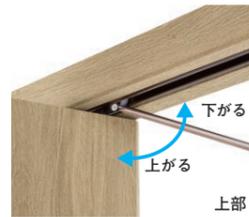
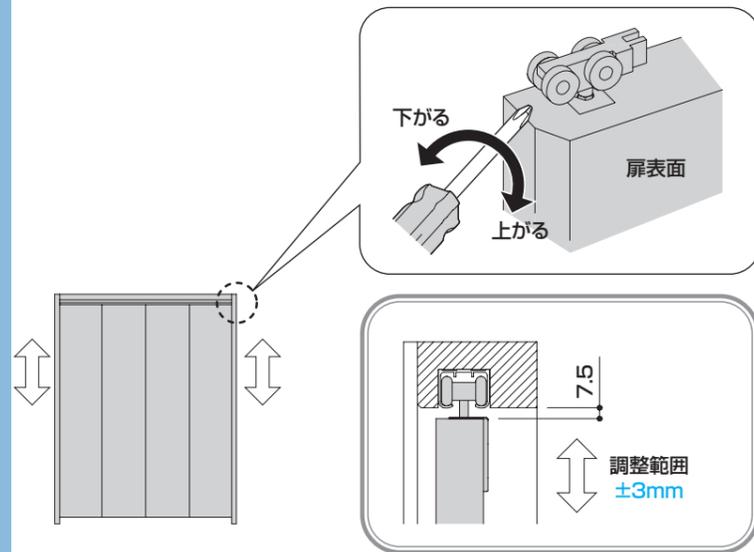


クローゼット(ピボット・フルオープン兼用タイプ)

扉の調整

[高さ(上下)の調整]

上ランナーの調整ネジを回し扉の高さ(上下)の調整をします。

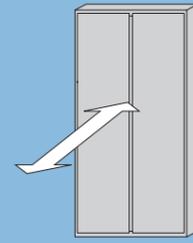


収納扉・玄関収納

※調整には電動ドライバーは使用しないでください。

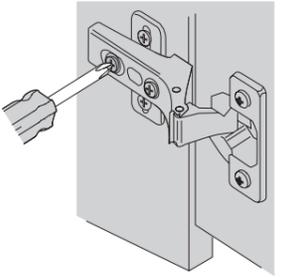
3方向調整丁番の調整方法

扉の前後の調整

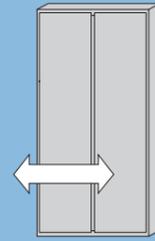


前後調整ネジを緩めると扉が前後に動かせます。扉を適正な位置に合わせて、前後調整ネジを締めてください。調整量は標準施工位置を基準に、**前方向3mm、後方向1mm**の範囲です。

※調整する扉についている丁番の全てを調整してください。

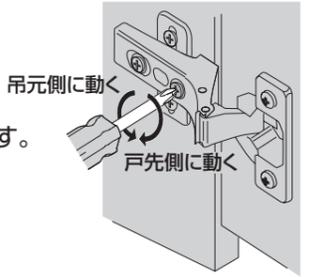


扉の左右の調整

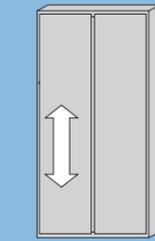


左右調整ネジを回すと扉が左右に動きます。調整量は標準施工位置を基準に、**戸先方向、吊元方向とも2mm**の範囲です。

※調整する扉についている丁番の全てを調整してください。



扉の上下の調整



すべてのベースプレートの上下調整ネジを緩めると扉が上下に動かせます。扉を適正な位置に合わせて、上下調整ネジを締めてください。調整量は標準施工位置を基準に、**上方向、下方向とも2mm**の範囲です。

※調整する扉についている丁番の全てを調整してください。

